

令和元年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「夏」

期間 令和元年五月一日～令和元年七月末

投句数 二、八〇三句

特選三句

天

涼しさや苔石段に立子句碑

東京都武蔵野市

池田

章子

地

老鶯や写経の筆の遅々として

神奈川県鎌倉市

中島

容子

人

寿福寺の俳句ポストの梅雨湿り

香川県小豆郡

柴田

禮美

入選句

一般の部

ぼうたんや令和を祝ふごとく咲き

大阪府豊中市

安藤 知明

万緑の真只中の朱の鳥居

埼玉県さいたま市浦和区

飯塚 璋

薰風に思わず深き呼吸かな

神奈川県鎌倉市

小野寺 信雄

ほろほろと卯の花散るや切り通し

神奈川県鎌倉市

金井 千恵子

山藤の散り込む虚子の矢倉かな

神奈川県横浜市南区

岸本 隆雄

満開の蓮風を呼び人を呼び

千葉県船橋市

栗原 勝風

友と来て愛でる紫陽花建長寺

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

佐藤 恒久

乗り継ぎて来し鎌倉の薄暑かな

愛知県名古屋市北区

住田 征夫

奥津城や夏鶯をほしいまま

埼玉県北葛飾郡

瀬戸 トメ子

滴りの静かに刻む切通し

神奈川県横浜市港南区

田阪 武夫

遠泳の勝者敗者を労へり

東京都杉並区

野村 親信

大佛の肩をよぎりし夏の蝶

埼玉県狭山市

古谷 彰宏

初蟬の鳴き揃ひたる五山かな

神奈川県茅ヶ崎市

松坂 真理子

深閑と比企の墓守る夏木立

東京都杉並区

宮本 昌子

時鳥五山をかける声高し

神奈川県横浜市青葉区

山下 省三

(順不同)

入選句

子どもの部

江ノ電のトンネルくぐり青葉かな

東京都品川区

井上 拓海

夏来たる鎌倉の町にぎやかだ

東京都世田谷区

鈴木 ひより

ひまわりがあたまを並べ楽しそう

東京都千代田区

田口 眞宇

だいぶつはみんなをみてるあじさいも

東京都世田谷区

小川 麗奈

頼朝も見たのだからこの蓮を

千葉県市川市

星野 空

ひっそりとやぐらが残る初夏の森

東京都豊島区

清水 友太

海開きもう目の前だ由比ヶ浜

東京都豊島区

阿部 圭佑

鎌倉の大仏を見る炎天下

東京都豊島区

川口 祥太郎

幾何学を生みだす蜘蛛の並木道

東京都豊島区

栗島 輝壮

大仏と君の笑顔と夏の空

東京都豊島区

朔 浩太郎

あめんぼう足で水けり前進む

神奈川県鎌倉市

稲葉 貫汰

夜の森小さな星は蛍たち

神奈川県鎌倉市

大市 楓果

江ノ電を見送る梅雨の由比ヶ浜

東京都品川区

小寺 琉空

由比ヶ浜風と波音夏乗せて

東京都品川区

田中 りいさ

鎌倉のみるみる育つ若葉かな

東京都品川区

加藤 瑠子

(順不同)